

(別添様式)

埼玉県環境SDGs取組宣言企業（入間川ゴム株式会社）取組報告

報告年月日 令和8年9月9日

1 企業等基本情報

所在地	埼玉県狭山市入間川1-15-40		
電話番号	04-2953-3131	URL	https://www.irumagawagomu.co.jp
業種	19 ゴム製品製造業	従業員数	114
事業内容	ゴム製品、合成樹脂製品の製造及び販売		

2 取組概要

NO	取組内容、成果、PRポイント	SDGsのゴール
1	【廃棄物】【資源の循環】 次のような方法で廃棄物の処分量を減らしております。 廃棄ゴムの再利用として、ゴムチップ用、とサーマルリサイクルに分別し、再利用率は60%台であり70%を目指しています。リターンゴムの有効利用と歩留り改善に取り組み、環境目標として産廃の削減に努めています。紙として再生できない裏打ち包装紙はRPFにし再利用を行っています。	 
2	【省エネ】 当社の受電設備は、6kVを全て3kVに変圧しておりました。実際3kVの電力は全体の4分の1程度の電力量で、その他は6kV→低圧に更新中で省エネ効果が期待できます。 熱源を蒸気としている多段プレス機のスチームトラップは、各段を集合して配管しドレンが溜まりやすいので頻繁に蒸気を放出していましたが、各段にスチームトラップを設置したので、ドレンは適正に抜け無駄な蒸気の放出がなくなりました。	 
3	【化学物質等】 洗浄用途でトルエンを使用し大気中に放出しておりましたが、主にMCHなどの代替物質と混合、洗浄方法を変更し、洗浄用のトルエンは5年間で1トンから50kgまで減らしました。実質的に環境負荷の小さい物質に変えていきました。	
4	【水の管理】 当社は地下水を主に間接冷却水と蒸気用ボイラーに使用しております。間接冷却水については、循環水として使用することをすすめ、10年間で汲み上げ量は半分以上にしております。近年は夏場の気温が高く夏場に使用量が多くなる傾向がありますが、チラーと併用して効率を改善しております。	

※取組を5つまで記載

※「2 取組概要」の部分については、必要な項目が記載されていれば上記表形式によらずとも可（図表、写真も可。ただし、全体でA4縦1枚に収めること）